

明学自動車部だより

MEIJI GAKUIN UNIVERSITY CARS



「明学自動車部O BOG会」: <https://mguac.com/>

我ら自動車部用の「個人情報取扱規約」を制定しましたので掲載

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
足踏みを強いた大過が過ぎ、健やかに新春をお迎えのことと
存じ心よりお祝い申し上げます。

私は先月に行われた「明学64懇親会」に参加して参りました。
55年の時を超えても集う“明学生の気質”が存分に出た、
誰もがアクセル全開で、アイコンタクトでは足りず、手を挙げ、
声を上げ、再会に胸が熱くなつた贅沢な時間でした。

わが「明学自動車部」でも世話人会を開き、会の存続を決定し
有意義な各種添付書類もでき、これからも氣概を持つて会を
盛り上げることを再確認いたしました。これからも、みなさま
の更なるご支援をお願い申し上げます。まだまだ未発掘の元部
員の方がおりますので情報提供も重ねてお願い申し上げます。
車の運転も、人生でも黄色信号が点くときがあります。その時
は謙虚にブレーキを踏み、やつぱり止まれば良かつた”とならな
いよう、『明学生の上質マナー』を更新しましょう。

末筆となりましたが、向寒のみぎりくれぐれもご自愛されます
ようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

代表世話人 小堤 兵吾・世話人一同

ホームページもぜひ閲覧ください。

検索

明学自動車部

2024年 1月発行
新春・第6号記念号
明学自動車部O BOG会
自動車部通信とお知らせ



■投稿・画像等お待ちしています。ホームページ・Eメール
や手紙などで投稿ください。
●sppn8fx9@fork.ocn.ne.jp
●明学自動車部O BOG会
〒343-0821 越谷市瓦曾根
2-8-28・小堤方（事務局）
携帯 090-4724-2170
明学 [01] 自動車部

ホーム 自動車部だより メンバーだより 思い出の写真 お知らせ お問い合わせ 会則



11/17 世話人会の模様と割烹神谷三代目のお話 (掲載)

11/17 世話人会を「割烹神谷」にて開催しました。

2023年全日本フィギュア競技結果 (会報誌にも掲載)

正田さんと木村さん(70年度生)のやじきた道中 (掲載)



世話人会からのお知らせ (明学自動車部のホームページ～) ↑ QR コード

■ 11/17 世話人会の模様と割烹神谷三代目のお話

11/17 (日) 川口の割烹神谷にて世話人会が開催され、その議題と議事録は11/22に配信した通りですが、その世話人会の模様と、割烹神谷三代目の平岩徳久さん(84年度生)の大変興味深いお話を動画にまとめましたので、自動車部のホームページをご覧ください。

1. 世話人会の模様

世話人会開始前に本年9月23日にお亡くなりになった、吉野正幸さん(66年度生)への献杯が捧げられました。あらためて心よりご冥福をお祈り申し上げます。吉野さんの後を引き継いで同じ66年度生の岩瀬恒彦さんが世話人になっていただきました。

2. 割烹神谷三代目 平岩徳久さんの自動車部のお話

平岩さんは最後の「北グラ世代」ということで、当時の自動車部の様子や北グラから戸塚への引っ越しや、引っ越し後の活動の状況(部員が白金と戸塚に分断されることによる活動の難しさ)等大変興味深いお話を聞かせていただきました。

■ 割烹神谷ホームページ

特に、平岩さんが「当時ジャーナリストでは一番速い。」と言われた77年度生の萩原秀輝さんと、「平岩さんのあこがれ」だった79年度生の木下隆之さんは必ず訪れてくださいね!

● 11/17 世話人会を「割烹神谷」にて開催しました。

去る11月17日(金)に埼玉県川口市にある「割烹 神谷」にて、7名の世話人が集まって世話人会が開かれました。

参加者: 小堤兵吾・中右秀紀・田口由之・岩瀬恒彦・谷崎洋一郎・小林滋幸・正田一明

前回の5月21日の世話人会以降、毎月オンラインにて実施してきた世話人分科会での検討事項や実施事項報告し、今後の方針や施策について世話人会の了承を得ました。

「自動車部の思い出」や「おたより」募集中! サイトメールアドレス mguacobog@gmail.com へ

● 今回の世話人会は84年度生の平岩徳久さんが経営する「割烹神谷」での開催となりました。

「割烹神谷」は平岩さんの祖父の代から80年以上続く老舗で、当日は昼時の大変多忙な時間にもかかわらず4時間以上にわたり一部屋をご提供いただき、さらにおいしい料理とお酒を非常にリーズナブルな価格でご提供いただきました。本当に有難うございました。

皆様機会があればぜひ積極的にご利用ください。「割烹神谷ホームページ」もご覧ください。

11/17 世話人会の模様と割烹神谷三代目のお話 [平岩 徳久 (84年度生)]

■11/17 (日) 川口の割烹神谷にて世話人会が開催され、その議題と議事録は11/22に配信した通りですが、その世話人会の模様と、割烹神谷三代目の平岩徳久さん(84年度生)の大変興味深いお話を動画にまとめましたので、ご覧ください。

この後のページに（議事録報告・会計報告11月末・アドレス登録お願い…

1. 世話人会の模様

賛助金のお願い・名簿表添付等があります

世話人会開始前に本年9月23日にお亡くなりになった、吉野正幸さん(66年度生)への献杯が捧げられました。あらためて心よりご冥福をお祈り申し上げます。吉野さんの後を引き継いで同じ66年度生の岩瀬恒彦さんが世話人になっていただきました。

2. 割烹神谷三代目 平岩徳久さんの自動車部のお話

平岩さんは最後の「北グラ世代」ということで、当時の自動車部の様子や北グラから戸塚への引っ越しや、引っ越し後の活動の状況(部員が白金と戸塚に分断されることによる活動の難しさ)等大変興味深いお話を聞かせていただきました。

※(私が北グランド最後の世代でございます。私共が北グラの引越しとお片付けをさせていたしました。半年近くかけて戸塚に引越しいたしました。)

※(やはり、北グラがなくなったのが、一番の大きな原因ではあります…)

※(戸塚まで行くのは非常にきびしいものがありました)…等々ホームページを参照

●是非明学自動車部OBOGの皆様、割烹神谷をご利用いただきますようよろしくお願ひします。

■割烹神谷ホームページ

割烹神谷三代目 平岩 徳久 (84年度生)

※(今でも木下先輩はユーチューブとかもやってらしゃいますし、カーオブザイヤーの選考委員とかも今でもやってらしゃいます)

●特に、平岩さんが「当時ジャーナリストでは一番速い」と言われた77年度生の萩原秀輝さんと、「平岩さんのあこがれ」だった79年度生の木下隆之さんは必ず訪れてくださいね！

■三代続く川口の老舗日本料理店

四季折々の食材が織り成す逸品を和の空間で味わう・一期一会の気持ちで接する誠心誠意のおもてなし・ご接待・結納・法事・歓送迎会などに・風情漂う和空間の完全個室

●店内の2階には大小の個室を完備しており、少人数での記念日から大人数が参加する家族の集まりまで、さまざまな用途で利用可能。日本情緒あふれる和の雰囲気は、若者から年配者まで、幅広い年齢層に支持されている。各個室はテーブル席・座敷どちらにも対応できるので、予約時にスタッフに確認を。

◎当日(11月17日)は参加者の自腹で昼御膳を食しながら世話人会を行いました。

「神谷ご膳」(ご予約のみ) 昼ごはん「彩(いろどり)」 酒通も納得の希少な酒を取り揃え！



自動車部世話人会 議題および会議結果 2023年11月17日(金) 川口 割烹神谷

議題1 メール調査、会費納入促進 郵便ハガキ

当初 会員調査にてメールアドレス調査、確認をするためであったがOB会費残金切迫の為、既加入者、未加入者問わず、谷崎作成予定文章と共に、送付することとする。ハガキ送付約70部

全員了解もらう。集計の結果97枚となり、小林独断で【整理の都合上 本年12月25日までにお願いします】と最後に追加。印刷、分別記入済み11/25までに郵送予定

議題2 不明会員調査 現状 実施方法等

【最重要】2023.06.013 自動車部OB会名簿調査用.xlsxに基づいて

「湖北」掲載勤務先調査し、会員が見つかれば先方から連絡してもらう、また電話帳データも活用し、調査継続する。

小堤さんは、知人等から個人の了解を得て、住所等教えていただく事は考えられるのではとの事。

議題3 プライバシーポリシー（個人情報運用規定）更新

個人情報関連プライバシーポリシーは現状WEBに掲載されているが、ホームページ運用や会員情報収集を考慮し、参照、融合しながら今まで検討してきたものをベースに自動車部独自のポリシーを作成する。全員了解もらう。時間を置かず更新する予定

議題4 個人情報を含む名簿などWEBサイト掲載、運用について

個人情報考慮し運用したとき、対外流失の懸念がある一方、相互連絡を取りたい場合などの必要性もあり、IDパスワード、個人認証などでログインできるサイトの仕組みのモックアップを作り世話人分科会のメンバーで試してみて今後の運用の参考とする。二重パスワードなどセキュリティーの配慮したものが作られる予定。

参照URL: 明学自動車部OBG会入会者名簿

MGUACOB/OGSITE [https://mguac.com/*****](https://mguac.com/)

パスワード・会員名簿ページパスワード*****: 会員名簿ファイルパスワード:*****

「自動車部だより」新年号で知らせる予定だが、見られない人は世話人会に連絡もらう?

議題5 会費未納者に対する「自動車部だより」送付について 以下で全員了解もらう。

議題2会費納入促進の郵便での結果で様子を考慮したうえで

A 自動車部だより送付をやめるか（「自動車部だより 新年号？」で予告？）でいろいろ検討告知することになるだろう。（未納者送付しないと決定、新年号予告掲載）

B 会費納入者だがネットなどしない人への対応（費用をかけずコピー印刷したもの送付。）

C 費用的にもWEB中心に移行する

D 未払だが毎回送付されてくるにはうれしいと、厚かましい意見もある。

E 内容は十分で、継続性があるか、

会費未納でもメールアドレス判明者には記事変更など送信する

議題6 その他

A WEB活用 会員情報として「やじさんきたさん」WEBうまく編集してくれた。今回も掲載予定。

B 世話人分科会の当面目標

- ・ある年代を中心として6~10年の年代の集まりの企画、募集 代行分布 163人中 関東135 関西19
- ・その為にも議題4不明会員調査を進める

その他 亡くなった吉野さんに代わり岩瀬さんが世話人会参加して頂くこととなりました。

小林がいい顔の写真選定 今回の神谷記事掲載時にWEBで知らせ「自動車部だより」新年号でお知らせ「自動車部だより」新年号掲載希望の記事があり、相談しながら進める。

以上

会計報告 [振替受払通知票] [貯金出納帳] [小口現金出納帳] 2023年11月末

振替受払通知票

明学自動車部OBOG会

2023 年

2 27	振替	振替口座から普通預金に入金		56,000	0
		小計 [2/1 ~ 2/28]	8,000	56,000	0
3 8	雑収入	賛助金 収入	5,000		5,000
		小計 [3/1 ~ 3/31]	5,000	0	5,000
5 17	雑収入	賛助金 収入	10,000		15,000
5 22	雑収入	賛助金 収入	6,000		21,000
		小計 [5/1 ~ 5/31]	16,000	0	21,000
6 22	雑収入	賛助金 収入	5,000		26,000
		小計 [6/1 ~ 6/30]	5,000	0	26,000

◎振替受払は「入会金」「賛助金」の振込みを受付管理しております。11月末の 残高¥26,000

預金出納帳

明学自動車部OBOG会

2023 年

5 25	消耗品費	会計ソフト更新代(ピーエ)		2,640	42,897
5 25	支払手数料	振込手数料(ピーエ分)		100	42,797
		小計 [5/1 ~ 5/31]	0	2,740	42,797
10 27	雑収入	入会賛助金 収入	5,000		47,797
		小計 [10/1 ~ 10/31]	5,000	0	47,797
11 27	雑収入	賛助金 収入	10,000		57,797
		小計 [11/1 ~ 11/30]	10,000	0	57,797
12 7	雑収入	賛助金 収入	10,000		67,797
		小計 [12/1 ~ 12/31]	10,000	0	67,797

◎貯金出納帳で資金の入出金を管理しております。2023年12月末時点において 残高¥67,797

小口現金出納帳

明学自動車部OBOG会

2023 年

1 4	振替	普通預金から小口資金に出す	40,000		84,974
1 6	消耗品費	文具購入(大谷道具)		1,400	83,574
1 11	消耗品費	東京カラー印刷A4用紙		41,500	42,074
1 13	通信費	会報誌発送切手代(162通郵便)		34,020	8,054
		小計 [1/1 ~ 1/31]	40,000	76,920	8,054
5 21	雑費	令和5年度総会親睦会・一部負担		4,200	3,854
5 21	雑収入	賛助金(5.21総会時15人から)収入	30,000		33,854
		小計 [5/1 ~ 5/31]	30,000	4,200	33,854

◎小口現金出納帳で諸雑費の支払いを行っております。2023年11月末時点の 残高¥33,854

明治学院大学 自動車部O B O G会：会員情報：2023年12月8日・「明学自動車だより」世話人会発行①

番号	年度	氏名	(旧姓)婦人	消息	市町村	番号	年度	氏名	(旧姓)婦人	消息	市町村
49	60	宮崎 之男		永眠		1	52	土倉 弘		永眠	
50	60	長野 祐三			神奈川県	2	52	渡 国男		不明	
51	60	兼松 孝夫			山梨県	3	52	美沢 孝利		永眠	
52	60	岸田 傑		不明		4	52	依田 正明		不明	
53	60	佐藤 正彦		不明		5	52	朝比奈一郎		永眠	
54	60	谷口 美次			新潟県	6	52	林 精彦		永眠	
55	60	田辺 毬子	(関川)		神奈川県	7	52	北島行雄		永眠	
56	60	渋谷 弥生	(加藤)		千葉県	8	52	海老原正一郎		永眠	
57	61	和田 義一	多恵子		東京都	9	52	土井 裕		永眠	
58	61	川瀬 功			福岡県	10	54	横山 邦彦		不明	
59	61	八代 健一郎		永眠		11	54	梁瀬 朝光	久美子	不明	
60	61	大塚 邦彦	芙佐子		神奈川県	12	55	田中 和吉		不明	
61	61	山田 祥三			東京都	13	55	谷ヶ崎 陳雄		不明	
62	61	小林 孝郎			東京都	14	55	西村 哲美		不明	
63	61	吉田 順喬		不明		15	55	三枝 忠勇		永眠	
64	61	小木 重男			神奈川県	16	56	田中 正行			東京都
65	61	望月 範子	(川崎)		静岡県	17	56	瀬々 洋司郎			東京都
66	61	宮崎 紅子	(山口)		兵庫県	18	56	田辺 静子		不明	
67	61	遠藤 英美子	(三部)		東京都	19	56	本保 知真子		不明	
68	62	池田 邦夫			東京都	20	56	清水 玲子	(江尻)	不明	
69	62	綿引 定房		永眠		21	57	石田 廉		永眠	
70	62	高橋 邦嘉			東京都	22	57	田村 雅明		不明	
71	62	千葉 範雄		不明		23	57	福田 稔徳		永眠	
72	62	斎藤 潔			千葉県	24	57	山岸 洋子	(林)	不明	
73	62	船田 幸男	南子		東京都	25	57	本田 陽子	(若林)	不明	
74	62	柴田 昌弘			神奈川県	26	58	河合 正志		永眠	
75	62	佐藤 置江子	(三上)		東京都	27	58	更科 隆夫		不明	
76	62	田中 美恵子	(梶原)	不明		28	58	杉浦 浩司	康江		東京都
77	62	腰塚 忍	(森安)	不明		29	58	近藤 茂彌			東京都
78	62	古家 泰子		永眠		30	58	田中 稔			東京都
79	63	樋田 謙吾		不明		31	58	西沢 利祐			東京都
80	63	末村 重昭			千葉県	32	58	加瀬 聖			兵庫県
81	63	加藤 丈人		永眠		33	58	足木 謙之			愛知県
82	63	板倉 喜江	(中畠)		熊本県	34	58	福田 晓		不明	
83	63	後藤 光子	(駒崎)		東京都	35	58	斎藤 信哉			東京都
84	63	斎藤 浪子	(草野)		東京都	36	58	坂井 俊晴		永眠	
85	63	近藤 苑子	(窪田)		東京都	37	58	佐久間 健			東京都
86	64	三上 黙			北海道	38	58	大西 恒彦			東京都
87	64	小堤 兵吾			埼玉県	39	58	設樂 修			埼玉県
88	64	井上 直文			東京都	40	59	福岡 進			神奈川県
89	64	中右 秀紀			東京都	41	59	小林 征而		永眠	
90	64	小林 英夫		不明		42	59	小林 志保子			東京都
91	64	望月 将一郎			静岡県	43	59	小林 紘太郎		永眠	
92	64	世取山 裕郎		永眠		44	59	中森 幹夫		不明	
93	64	福岡 満雄		永眠		45	59	春山 博道			東京都
94	65	山元 一典			岩手県	46	59	遠藤 進衛		永眠	
95	65	綿引 定範			茨城県	47	59	高尾 桂子	(加藤)	不明	
96	65	川俣 健治郎			東京都	48	59	松岡 登紀子	(近藤)	不明	

明治学院大学 自動車部 O B O G 会：会員情報：2023年12月8日・「明学自動車だより」世話人会発行②

番号	年度	氏名	(旧姓)婦人	消息	市町村	番号	年度	氏名	(旧姓)婦人	消息	市町村
145	69	高橋 功			東京都	97	65	奥津 正		永眠	
146	69	井上 幸二		永眠		98	65	乾山 知之			東京都
147	69	小原 豪裕			神奈川県	99	65	樋口 雅一			東京都
148	69	松川 健治			長崎県	100	65	内田 実		永眠	
149	69	井坂 雄二			神奈川県	101	65	田丸 英一	光子		東京都
150	69	山本 俊介			東京都	102	65	古市 尚士		不明	
151	69	及川 せい子			東京都	103	65	田口 由之			東京都
152	69	池田 悅子 (原)			東京都	104	65	黒沢 香一	(熊沢)	永眠	
153	70	高橋 良次	由美子		東京都	105	65	福島 正通		不明	
154	70	高橋 由美子 (岡部)			東京都	106	65	梅田 敏明			神奈川県
155	70	木村 真			東京都	107	66	陶山 恵造			愛知県
156	70	正田 一明			東京都	108	66	福本 喜保			神奈川県
157	71	中川 豊実			千葉県	109	66	小幡 季暁		永眠	
158	71	中原 晴次		不明		110	66	岩瀬 恒彦			東京都
159	71	間宮 晴正			東京都	111	66	角田 晓生			神奈川県
160	71	宝積 誠次			東京都	112	66	吉野 正幸		永眠	
161	71	野中 和明		不明		113	66	松本 一昭			東京都
162	71	土屋 長之		不明		114	66	鈴木 豊			神奈川県
163	71	石川 江津子 (木住野)			神奈川県	115	66	島田 省治			東京都
164	72	原田 博			千葉県	116	66	石井 哲夫			神奈川県
165	72	桜沢 正道			東京都	117	66	高見沢 坦		永眠	
166	72	福島 正明		永眠		118	66	小島 啓史		永眠	
167	72	石川 冬樹			東京都	119	66	滝本 洋子 (小林)			東京都
168	73	江島 浩二			佐賀県	120	66	遠藤 典子 (深尾)			東京都
169	73	榎本 義和			東京都	121	66	大川 英子		不明	
170	73	北井 宏昌			東京都	122	66	近藤 真知子 (森坂)			東京都
171	73	太田 和幸			神奈川県	123	66	奥津 瑞江 (藤原)			神奈川県
172	73	畠山 知子		不明		124	67	田中 実			東京都
173	74	田久保 浩貴			三重県	125	67	池田 和夫 悅子	永眠		
174	74	中村 幸弘		永眠		126	67	海原 正弘			静岡県
175	74	木村 則之		永眠		127	67	田中 成佳			東京都
176	75	篠原 瑞陽			群馬県	128	67	坂井 巍			東京都
177	75	兼田 博光			東京都	129	67	筒井 公子			東京都
178	75	兼田 直邦			佐賀県	130	68	明石 敏夫			東京都
179	75	品田 薫子 (麦倉)			新潟県	131	68	貞住 文夫			長崎県
180	75	作本 律子			石川県	132	68	伊藤 邦夫			新潟県
181	76	佐久間千佳子			福島県	133	68	紺野 英雄			千葉県
182	76	相馬 伸枝 (永井)			長野県	134	68	谷崎 洋一郎			沖縄県
183	77	西山 雅淑			神奈川県	135	68	竹本 慶三			長崎県
184	77	河原 宏		永眠		136	68	小林 滋幸			千葉県
185	77	萩原 秀輝			東京都	137	68	矢島 昭博		永眠	
186	77	鈴木 哲朗		不明		138	68	青山 佐恵子 (杉山)			神奈川県
187	77	松本 由美子 (森)			埼玉県	139	68	田丸 光子 (岩垂)			東京都
188	78	早川 潤		不明		140	68	畠本 初代 (松島)	永眠		
189	78	小倉 直樹			千葉県	141	69	加藤 堅司			千葉県
190	78	中村 泰行		不明		142	69	村里 忠充			東京都
191	78	鳥羽 由理		不明		143	69	久米 誠 (由紀江)			埼玉県
192	79	木下 隆之			神奈川県	144	69	久米 由紀江 (小林)			埼玉県

明治学院大学 自動車部O B O G会：会員情報：2023年12月8日・「明学自動車だより」世話人会発行③

番号	年度	氏名	(旧姓)婦人	消息	市町村	番号	年度	氏名	(旧姓)婦人	消息	市町村
241	88	櫻井 真一郎		不明		193	79	茂木 誠		不明	
242	88	中野 秀人			群馬県	194	79	佐藤 大介			神奈川県
243	88	渡辺 達哉			福島県	195	79	廣政 淳雄			山口県
244	88	立花 誠一			兵庫県	196	79	梶山 利治		不明	
245	88	中川 英幾		不明		197	80	矢崎 正			東京都
246	89	高橋 真樹		不明		198	80	大塚 匡			東京都
247	89	和田 昌明		不明		199	80	林 毅		永眠	
248	89	小林 岳史		不明		200	80	吉田 泰三			埼玉県
249	90	山本 和弘			香川県	201	80	小島 洋之		不明	
250	90	松下 剛			静岡県	202	80	新井 隆義			埼玉県
251	90	八野 岳雄			千葉県	203	81	園部 文男		不明	
252	90	高野 雅哉			東京都	204	81	古橋 修		不明	
253	90	松村 誠士			香川県	205	81	和井田 高史		不明	
254	91	斎藤 利幸		永眠		206	81	坂崎 智子		不明	
255	91	林 黙			東京都	207	82	高野 豊		不明	
256	91	大平 隆史		不明		208	82	鈴木 映		不明	
257	91	石倉 慎太郎			神奈川県	209	83	菊谷 聰			神奈川県
258	91	黒澤 敦之			広島県	210	83	駒宮 豊彦		不明	
259	91	八戸 泰道	ヤエ		長崎県	211	83	関口 秀樹			千葉県
260	91	野村 裕之			愛知県	212	83	星野 真也			茨城県
261	92	坪 太一			東京都	213	83	石橋 信也		不明	
262	92	喜田 正道			神奈川県	214	83	野本 真二		不明	
263	92	西川 深平		不明		215	83	箸方 健一		不明	
264	92	松成 善多			東京都	216	83	塚本 智		不明	
265	93	吉原 歩			神奈川県	217	83	中川 真樹	(野見山)		神奈川県
266	93	柏崎 隆英			東京都	218	84	花田 潔		不明	
267	93	市原 伸泰		不明		219	84	西沢 愛輝		不明	
268	94	辻 明仁		不明		220	84	小川 敬			埼玉県
269	94	上平 幸代			神奈川県	221	84	平岩 徳久			埼玉県
270	95	金子 敏徳			愛知県	222	85	大久保 学			東京都
271	95	相原 一郎			神奈川県	223	85	国谷 芳宏			広島県
272	95	大垣 善永			埼玉県	224	85	児玉 昌三			埼玉県
273	96	末吉 仁		不明		225	86	荒川 浩一			東京都
274	96	中田 成昭		不明		226	86	笹瀬 俊輔		永眠	
275	96	黒崎 良		不明		227	86	高橋 紀美夫		不明	
276	11JC	中村 哲志			埼玉県	228	86	松田 聰		不明	
277	12JC	加藤 諒			神奈川県	229	86	岡崎 雅弘		不明	
						230	86	山中 直人			千葉県
						231	86	岡村 隆史		不明	
※住所不明者をご存じの方は 明学自動車部OB/OG会						232	86	小野 朋子			神奈川県
事務局 090-4724-2170 又はホームページ						233	86	小出 美奈	(五箇野)	不明	
https://mguac.com/ の「お問い合わせ」						234	86	鈴木 美穂子			神奈川県
にお知らせください。						235	86	宮川 亜紀	(戸澤)		東京都
※2023年12月8日現在のデータです。						236	87	加藤 正法			神奈川県
空色の方は入会金等お支払い願います。						237	87	斎藤 修一		不明	
(黄色の方は既に入会金等納入済です)						238	87	鈴木 淳一		不明	
						239	88	磯畑 充			東京都
						240	88	吉田 直矢			東京都

メールアドレス登録のお願い・情報発信がスピーディーに案内出来ます・世話人

■殆どの方が毎日手にするスマホなどで閲覧できるOBOG会専用ホームページは行事案内とその報告としての動画、投稿記事、近況報告など様々な情報がスピーディーに案内出来、またタイムリーに閲覧して頂けます。

従来の印刷物の提供と比較すると、スピード感、情報量、費用には雲泥の差があります。一方で、そのようなインターネット環境を持たない方々には、一定期間の記事を「自動車部だより」として希望のOBOGの方々に配布することが引き続き求められると思います。

タイムリーに記事の更新などをお知らせするため、会員メールアドレスの情報を、お知らせ下さい様お願い申し上げます。

下記アドレスにお名前、入学年度を記入してお教え下さい。

mguacobog@gmail.com



賛助金のお振込みのお願い・入会金未だの方お振込みもお願い・世話人代表

■日頃よりOBOG会の運営にご協力いただき感謝申し上げます。

ご承知の通り、自動車部はすでに体育会から除籍され、また部自体も2020年3月をもって廃部となっています。

現在はOBOG会として活動を行っているところですが、廃部に係る費用をOBOG会費から出費したこともあって、現在の財政状態は逼迫しております。
今後の活動を続けていく上でも、財政の健全化は不可欠であります。

そこでOBOG会会員の皆様には「賛助金」のご負担を是非ともお願い申し上げる次第です。「賛助金」の額は任意でございます。
ご賛同いただければ、お手数をおかけしますが、下記にお振り込み下さいよう、よろしくお願い申し上げます。（念の為、郵便局の振込用紙を同封いたしました）

なお、入会金を未だお支払いていない方には3,000円を併せて、お振込みいただければ幸いです。（名簿一覧表をご覧ください）

ゆうちょ銀行 10370-94745751
メイガクジドウシャブオービーオージーカイ

他行からは、店名〇三八（ゼロサンハチ）店番038 口座番号9474575
OBOG会世話人会代表 64年度生 小堤 兵吾
同幹事 68年度生 谷崎洋一郎

明治学院大学自動車部 OBOG 会個人情報取扱規約 2023年11月10日：制定

●明治学院大学自動車部 OBOG 会（以下「当会」と称する）では、これまで皆様の個人情報に関しては慎重に取り扱ってまいりましたが、個人情報保護法の理念「個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものである。（法第3条）」を尊重して、個人情報保護方針（以下、「プライバシーポリシー」と言います。）を定め、全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱い、またこれの正確性・機密保持に万全を尽くすよう努めてまいります。

1. プライバシーポリシー

当会は、会員からご提供いただいた個人情報を、法に則り適切かつ慎重に管理します。

また、紛失・改ざん・漏えいなどに対して適切な予防措置をとり、万が一の場合は、可能な限り速やかな対策を講じます。

2. 当会が取得する個人情報について

当会が取得する会員の個人情報は以下のとおりです。

- ① 氏名
- ② 住所
- ③ 電話番号
- ④ メールアドレス
- ⑤ 勤務先
- ⑥ 入学年度
- ⑦ 生年月日
- ⑧ その他当会運営目的に必要な情報

3. 対象とする個人情報の利用目的について

当会は以下の目的に必要な範囲で会員の情報を取得し、取得した情報を利用します。

- ① 会員名簿の作成・管理
- ② 会報の発行
- ③ 各種会合・セミナー等へのご案内
- ④ 会費・賛助金の募集
- ⑤ 明治学院大学やその関連団体の広報活動
- ⑥ その他当会運営に関する業務

4. 個人情報の収集について

当会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。

- ① 当会世話人会から会員本人へ直接提供依頼する場合。
- ② 会員本人から直接事務局へご連絡をいただく場合
- ③ 会員本人の同窓生および家族から間接的に事務局へ連絡いただく場合



明治学院大学自動車部 OBOG 会個人情報取扱規約 2023年11月10日：制定

5. 個人情報の管理について

当会では個人情報を正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざん・漏えいまたは再提供（次項「個人情報の第三者への情報提供について」に該当する場合を除く）等のないように、適切な管理を実施いたします。

なお、個人情報管理責任者は、明治学院大学自動車部 OBOG 会世話人会会長とし、個人情報取扱者は、同副会長とします。

また、個人情報の処理を外部に委託する場合は、個人情報を適正に取り扱っている委託先を選定し、契約等を通じて、必要かつ適切な監督を行います。

6. 個人情報の第三者への提供について

当会では、原則として会員本人の同意を得た場合以外は会員および第三者に情報の提供を行いません。ただし以下の場合は、この限りではありません。

- ① 当会が「氏名・入学年度・居住都道府県・会員区分」に限定した情報を会報に掲載する場合
また同情報を当会ホームページ上でパスワード管理にて会員限定で閲覧可能にし、会員
互間の交流目的で利用する場合
- ② 当会が各種事業を行うために業務を委託する外部業者に対し提供する場合
- ③ 警察や裁判所等の公的機関から法律に基づく手続きにおいて照会を受けた場合
- ④ 会員の行為によって当会規約等に反し、当会の権利や財産を保護するため必要と
認められる場合
- ⑤ 人名・身体・財産等に対する緊急の必要性がある場合

7. 個人情報の開示・訂正・利用停止について

会員本人が自己の個人情報について、開示・訂正及び利用停止を求める権利を有していることを確認し、これらの要求がある場合には、会員本人からの請求であることを確認のうえ、速やかに対応します。

8. お問い合わせ先

当会の個人情報保護方針に関する、ご意見・ご質問・苦情の申し出・その他個人情報の取り扱いに関するお問い合わせは、以下の窓口にご連絡ください。

明治学院大学自動車部 OBOG 会世話人 68年度生 谷崎洋一郎

電話 090-7732-8668

Eメール y-tanizaki@j03.itscom.net

9. 法令等の順守・個人情報保護ポリシーの改定について

当会では、日本国における法令等に従った個人情報の管理・利用を行います。当会では日本国における法令等の変更に合わせるため、個人情報の保護をより確かなものとするため、またはその他の理由により、本プライバシーポリシーを改定させていただくことがございます。

10. 制定・施行日

2023年11月10日

明治学院大学自動車部OBOG会

明治学院大学自動車部 OBOG 会個人情報取扱規約 2023年11月10日：制定

●明治学院大学自動車部 OBOG 会（以下「当会」と称する）では、これまで皆様の個人情報に関しては慎重に取り扱ってまいりましたが、個人情報保護法の理念 「個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものである。（法第3条）」を尊重して、個人情報保護方針（以下、「プライバシーポリシー」と言います。）を定め、全ての個人情報をより安全かつ適切に取り扱い、またこれの正確性・機密保持に万全を尽くすよう努めてまいります。

1. プライバシーポリシー

当会は、会員からご提供いただいた個人情報を、法に則り適切かつ慎重に管理します。

また、紛失・改ざん・漏えいなどに対して適切な予防措置をとり、万が一の場合は、可能な限り速やかな対策を講じます。

2. 当会が取得する個人情報について

当会が取得する会員の個人情報は以下のとおりです。

- ① 氏名
- ② 住所
- ③ 電話番号
- ④ メールアドレス
- ⑤ 勤務先
- ⑥ 入学年度
- ⑦ 生年月日
- ⑧ その他当会運営目的に必要な情報

3. 対象とする個人情報の利用目的について

当会は以下の目的に必要な範囲で会員の情報を取得し、取得した情報を利用します。

- ① 会員名簿の作成・管理
- ② 会報の発行
- ③ 各種会合・セミナー等へのご案内
- ④ 会費・賛助金の募集
- ⑤ 明治学院大学やその関連団体の広報活動
- ⑥ その他当会運営に関する業務

4. 個人情報の収集について

当会で個人情報をご提供いただくのは、以下の場合となります。

- ① 当会世話人会から会員本人へ直接提供依頼する場合。
- ② 会員本人から直接事務局へご連絡をいただく場合
- ③ 会員本人の同窓生および家族から間接的に事務局へ連絡いただく場合



2023年全日本フィギュア競技結果

鈴鹿サーキット西：取材：田久保 浩貴 ①

■11月12日(日)鈴鹿サーキット西パドックにて2023年全日本学生自動車運転競技選手権大会(通称 フィギュア)が開催されました。

■競技会に関する規則では下記のとおりです。

競技は、次の2種目で行う。

(1) 貨物自動車 (2) 乗用自動車

●団体戦は、前項各号に定める2種目で行う。

団体戦の参加校が多く、当日に競技が完了できない場合、2つのグループA,Bに分けて4種目で行う。

個人戦は第1項各号に定めた種目で行う。2つのグループで行った場合、種目毎にグループA,Bで個人戦を行う。

●今回は、男子はA,Bに分けた4種目で行われました。

●団体優勝は男女とも慶應義塾大学体育会自動車部、男子は四名中三名が一位、女子は二人とも一位で、まさに「陸の王者慶應」でした。

●当日の競技の模様をまとめましたのでご覧ください。

時間の関係で女子の競技は取材できませんでした。



“2023年全日本フィギュア競技結果”へのコメント

■谷崎洋一郎 より: 2023年11月14日 7:51 AM

◎鈴鹿サーキットでのフィギュア競技の様子を拝見しました。

運転免許試験場が使えなくなった、という事情があるのですね。車種も2種類のみになっていたり、

コースも複雑になっていたり、私たちが行っていた時代とは隔世の感があります。

◎慶應義塾、早稲田、立教といった伝統校が強いのは、昔も今も同じですね。我が校の時代は「夢のまた夢」なのでしょうか。田久保さん。これからもよろしくお願ひします。





- 中村慎助大会会長（慶應大学教授）
開会挨拶
- 多賀審査委員長（早稲田大学OB）
挨拶（御年89才）
 - ・「フィギュアというのは勢い込んで行つたらアウトになります。
淡々と時間制限以内に戻つてくるとい
う、全体のバランスを大事にする競技
です。充分練習の結果を見せていただ
ければありがたいと思います。
頑張ってください。」



- 磯野組織委員長（慶應義塾大学OB）
(レポーター：田久保浩貴)
 - ・「全日本フィギュアは昨年からここ鈴鹿サーキットでやることになったのですが、いきさつは？」
 - ・「はっきり言って警視庁の試験場が貸してくれなくなつた。」
 - ・「たまたまこういうパドックがありますからね。ですからこんなに広いのがありますのでありがとうございます。」
 - ・「じゃもう、ダートラ含め三つの内二つが鈴鹿でやっているということで。」
 - ・「鈴鹿も非常に前向きに受け入れてくれている。」
 - ・「今もOBがよく来ていただいて。」
 - ・「私も非常に懐かしいですね、このフィギュアはなんたって原点ですから。これができなかつたら自動車部はだめですから。」



- コース中に使用する「缶」はオイル缶ではなく、紙筒（ボイド管）を使用しています。

[寸法は]

- 乗用自動車：直径10cm×高さ7cm
- 貨物自動車：直径10cm×高さ10cm
- 枠線はガムテープを幅2-3cmにカットして使用。



■～竹本慶三さん（68年度生）、
松川健治さん（69年度生）にもお会いして～

●やじさんは自動車部70年度生の正田一明さん、
きたさんは同じく70年度生の木村 真さん。



■二人が旅行するようになったのは、2018年にもう一人の70年度生、高橋良次くんと三人で佐渡へ旅行したのがきっかけでした。

その後、コロナの影響で間が空いて今年の四国九州旅行は、やじさん・きたさんの二人旅となりました。

8月の世話人会オンライン会議で今回の旅行のことをお話しすると、

68年度生の谷崎洋一郎さんと小林滋幸さんから

「68年度生の竹本慶三さんと69年度生の松川健治さんに会ってきました」

と提案を受けました。

ご挨拶だけでもとお二人に連絡したのですが、お二人とも大変お忙しい時期にもかかわらず時間を割いて頂けるとのことで、そのお言葉にすっかり甘えてお世話になってしまいました。

きたさんは53年前に入部した時から、小型貨物の部で一年先輩の松川さんからフィギュアの指導を受け

「木村、いつまでも見てんじゃねーぞ」と厳しく指導され、今でも自宅の車庫入れでは松川さんの声が聞こえてきて、あわてて左のフェンダーに目を移しているそうです。

前置きが少し長くなりましたが、いよいよ出発です。

■環状8号線から東名高速に入り、このまま東名高速を進むのか新東名高速に進むのか意見が分かれましたが、東名高速が工事中のため新東名高速を走ることになりました。制限時速が120km/hのため、やじさんのスカイライン250GTは制限速度を少し超えても2000回転前後で静かに西へ向かいます。

ナビの到着予定時刻がどんどん早くなり、まるで時間を飛び越えていくような気持になりました。



スカイライン250GT

伊勢湾岸自動車道、新名神高速、山陽自動車道、神戸淡路鳴門自動車道、高松自動車道を通って高松市街に入り、名物の讃岐うどんを食べました「これのなんとおいしかったこと」。

その後、「お庭の国宝」とも称される栗林公園、日本三大水城のひとつである高松城を見学して坂出市のビジネスホテルにチェックイン。

■2日目は朝から暑い日でしたが、金刀比羅宮の785段の階段に挑戦、杖を突きながらもゆっくりと階段を上る一回りは年上に見える男性に出会いました。彼に負けるわけにはいかずと、上から下まで汗で体中びしょびしょになりながら本宮まで登り、お参りを済ませて階段を下りてくると、なんとそこに先ほどの杖を突いていた男性の姿が・・・ やじさんもきたさんも普段の運動不足を思い知らされた瞬間でした。

●その後、国道32号線を南に走り、大歩危、小歩危、かずら橋を見学。渓谷美を楽しみにしていたやじさんは期待していたほどではないと、少々いらいらの様子。

徳島自動車道、松山自動車道、国道378号線、197号線を通って三崎港から国道九四フェリーで大分県の佐賀関港へ、そこから国道197号で大分市に入り、駅前のホテルにチェックイン。

■3日目も朝から強い日差しが照りつける中を別府温泉の地獄めぐりからスタート。

時間の関係から7つある地獄の中からコバルト色の海地獄と一面赤色の血の池地獄を見学、「やじさんが海地獄で、きたさんが血の池地獄に入るのかな?」。

大分自動車道、国道387号線、212号線を通って阿蘇の大観峰展望台へ。

途中、道を間違えたこともあって車内は少々暗くなりかけましたが、大観峰からの雄大な景色に二人の心も大きくなつたようで、阿蘇中岳火口に到着する頃には車内も元通りに…。火口付近の霧も晴れ、幾すじかの噴煙はあるものの運よく火口の底近くまで見ることが出来ました。

●熊本市内へ向かう途中、回り道した高千穂峡は、斜めに切り立った岩の断面が圧巻で真名井の滝もとても美しく、ただ時間の関係で貸しボートに乗れなかったことが残念でした。

熊本といえば馬刺し、食事のたびに意見の分かれていたやじさん・きたさんでしたが、この時だけは意見が一致、ホテルお勧めの馬刺し専門の居酒屋へ直行、初めての本場の馬刺しとお米で作った球磨焼酎で乾杯～～その先はご想像におまかせします。

■4日目も朝から暑い日でしたが、2日前に785段を上った筋肉痛の後遺症もないことから、熊本城の天守閣を目指してひたすら階段を上りました。天守閣からは2016年の熊本地震で現在も改修中の城内や復興した街並みを眼下に見ることが出来ました。

その後、水前寺成趣園を見学、熊本オーシャンアローラジ橋からフェリーで島原へ渡り、雲仙温泉にある雲仙地獄工房を見学し、国道251号線を通って長崎駅前のホテルにチェックイン。



●早速69年度生の松川さんに連絡すると「翌日、稻佐山の展望台へ行くなら是非、夜景を見せたい」と仰って急遽、稻佐山に上ることになり、30年ほど前まで精肉店を開いていて、現在作業所となっている昭和町の方へお迎えに行くことになりました。

松川さんへのお土産をホテルに忘れてきたことと、昭和町までの道が渋滞していたこともあって、車内も夕暮れの暗い雰囲気に包まれました。しかし、30分以上お待たせしたにもかかわらずご夫妻の笑顔に迎えられて、松川さんに稻佐山展望台まで案内して頂く頃には車内も夕日に照らされたように明るくなっていました。

■ここで松川さんことを少し紹介します。

松川さんは1973年に卒業後、お父上の営まれる松川精肉店を承継され、30年ほど前まで現在作業所として使用している昭和町で精肉店を営んだ後、



新大工町の市場に出店されました。5年ほど前にその市場が再開発により閉鎖されるまで営業を続けられて、現在は精肉の卸売に特化した営業を昭和町の作業所で続けておられます。

奥様は、松川さんの高校時代の先生の奥様の妹さんで、とても明るくて若々しく、(これは内緒の話ですが) どう見ても松川さんと同い年には見えませんでした。

お子さんは男の子さんが二人で、長男の方は東京の南品川でフィットネスの会社にお勤めで、奥様は松川さんの妹さんご夫妻のお店へパートで来られています。

また、次男の方は諫早市に本店を置く信用金庫にお勤めで、小学校3年生になるお嬢さんが高校野球の県大会で始球式をされたことを嬉しそうにお話し下さいました。

松川さんに案内して頂いた稻佐山からの夜景は、手前の長崎港から広がる長崎市街の明かりがとても美しく、北海道の函館山からの夜景を超えるのではないかと思うほどで、やじさん・きたさん時のたつのを忘れてしました。

案の定、長崎市内の中華街に戻った時には時すでに遅しで、お店の閉店間際。ラストオーダーということで名物の長崎チャンポンと卓袱料理を注文したのですが、卓袱料理は既に売り切れとなっていました。でも長崎チャンポンとコクのある甘みのきいた美味しい酢豚をご馳走になることが出来ました。「ごちそうさまでした」



■5日目は小雨の降る朝でいくらか涼しかったのですが、昼前から青空が広がりこの日も30度を超える暑さとなりました。

10時発の長崎定期観光バスに乗って5時間の市内観光を楽しみました。

■5日目は小雨の降る朝でいくらか涼しかったのですが、昼前から青空が広がりこの日も30度を超える暑さとなりました。

10時発の長崎定期観光バスに乗って5時間の市内観光を楽しみました。

ガイドさん（ガイド歴16年のベテラン）から説明を受けながら、長崎原爆資料館、平和公園、一本柱鳥居、出島、オランダ坂、大浦天主堂、グラバー邸をめぐり、原爆の恐ろしさをしみじみと感じ、平和の尊さを心から祈る時を過ごすことが出来ました。

国道206号線を通って佐世保市街に入り、駅前のホテルにチェックイン。

■バッグショップタケモトは「させぼ四ヶ町商店街」という三ヶ町商店街と合わせて約1km以上に及ぶアーケード街のほぼ中央にあります。二人の店員さんとともに奥から迎えて下さった竹本さんは、5年ほど前に手術をされたとのことで少しお痩せになったようでしたがスーツにネクタイ姿で登場、久しぶりにお会いするお顔にはチャームポイント（？）のお髭が。



最初にお店の中を案内して下さって、1F、2Fのフロアに置かれている3000点以上のバッグを見せて頂きました。

■ここで竹本さんことを少し紹介します。

竹本さんは1972年に卒業後、大牟田市や沖縄県で修行され、1954年創業のバッグショップタケモトの2代目代表取締役に就任、

させぼ四ヶ町商店街協同組合長を16年間務めて、現在は長崎県中小企業団体中央会副会長、長崎県商店街振興組合連合会理事長として長崎県商店街の発展に尽力されています。

また、明治学院大学同窓会長崎県支部支部長として母校の発展にも貢献されています。

●ご家族はお嬢様が二人おられて、お二人とも福岡県で家庭を持ち、それぞれにお一人ずつお嬢さんがおられます。竹本さんご自身は現在、奥様とコーギー犬マーブル君14才と3人（？）で暮らしています。

YOSAKOI九州中国連絡協議会会長として、10月21日、22日に開催される「YOSAKOIさせぼ祭り」の準備にお忙しい最中でしたが、佐世保名物、時代屋の元祖レモンステーキや“ブルースカイ”というカウンター席のみ6席ほどの小さなお店の、



竹本さん曰く「本物の佐世保バーガー」をごちそうになりました。

この店の佐世保バーガーは、ハンバーグの上にトマトの輪切りとほぼ生の玉ねぎの輪切りを乗せただけのシンプルな一品でしたが、女将の指示通りの食べ方で食べないと叱られるという、ちょっと変わった怖いお店で不器用なきたさんはドキドキでした。

でも、2代続いているお店とあって、さすがの味に二人ともほっぺたが落ちそうになりました。

■翌日も、弓張岳展望台から佐世保湾と第二次世界大戦で「ニイタカヤマノボレ」を発信した電波塔などを眺望し、九十九島が一望できる展海峰、九十九島公園などにも案内して頂き、おかげ様で佐世保の観光を堪能することが出来ました。

■いよいよ楽しかった二人旅も終わりに近づき、

佐世保からは西九州自動車道、長崎自動車道、国道385号線を通って邪馬台国論争で話題になっている吉野ヶ里遺跡を見学、太古の暮らしに思いを馳せながら広い公園内を散策してから、

九州自動車道で太宰府天満宮へ向かいました。旅が安全に終わりつつあることを感謝して、名物の梅餅も賞味することができました。

新門司フェリーターミナルから阪九フェリー“せつつ号”に乗船、ついに九州ともお別れすることになりました。

■翌朝、六甲アイランドフェリーターミナルに定刻に到着、そこから名神高速、伊勢湾岸自動車道、新東名高速を通って、夕刻までに無事帰宅することができました。

■今回の旅行、時間を間違えて危うくフェリーに乗り遅れそうになるなど、まさに「やじ・きた珍道中」となりましたが、平和の尊さと人の温かさを感じた有意義な旅となりました。



弓張岳展望台



九十九島公園



太宰府天満宮

東風吹かばちひおさせよ梅の花
あるなしとて春な忘れそ。

◎自動車部OBOG会の皆様、ご存知の先輩後輩の方がいらっしゃいましたら是非訪ねてみてください、きっと温かく迎えてくださることでしょう。

◎また、世話人会といたしましても懐かしい出会いが叶いますようお手伝いさせて頂きますので、ご遠慮なくお問い合わせ頂ければ幸いに存じます。

■最後になりましたが、お世話になりました

竹本慶三さん、松川健治さんにこの場をお借りして

あらためて御礼申し上げます。「ありがとうございました」

70年度生 正田一明・木村 真



弓張岳展望台

■先日テレビで何処か外国のラリーの映像が流れ懐かしく学生時代を思い返した・・・

当時、明学自動車部は活動の三本柱であるフィギュア、ラリー、整備の試合の中で、フィギュアを中心回っていた。各代、全関東予選を通過し、全日本フィギュア大会の出場権獲得に活動を特化した様相であった。

第1回目の東京オリンピック翌年入学の我々65年度生は一定時の入部者が40数名にのぼり、初めての山中湖湖北寮の夏合宿には、40名近い一年生参加者が居た。夏合宿前までは、お客様と云われた時代で、その通り合宿後の部員は激減した。四年生になり、気付いて見れば残っている女子は一人も居なかった。

当時、ラリーの全関東予選には歴代エントリーしておらず、我々の代は激減したとは云え、歴代の人数からみると、三年生までは男子だけになってはいたが、15名程度の大所帯であった。(卒業時は男子のみの精鋭？13名になっていた)



「モータースポーツから見る
木下隆之コラム

■今は亡き「奥津 正」現役も現役バリバリの「乾山 知之」達(ジャニーズ事務所ではないので、“君”付けは変であるし、“さん”付けもシックリこないから同期、及び下の代は敬称を略させて戴きます)

三年生の夏合宿、ある雨の日に四年生の許可を得て一、二年生にヨーロッパ方式とアメリカ方式の違いから始まって、M、コントロール地点での修正値の出し方等、ラリー全般の話を私がし、鉄の魂タイガー計算機を使っての計算方法を乾山知之が講義した。

ラリーも自動車部活動の一本の柱と云う強い思いがあり、他校主催ラリー、シェル石油等、企業主催であったり協賛の他流試合に積極的に参加する事になる。

その中で特に忘れられないラリーがある。理科大主催の学生選手権を意識したラリーで、他大学のものとはかなり異なり、搭乗者2名制、スペアタイヤ2本、ガソリンはスペアタンクに20L搭載せよとの縛りがあった。「何処まで行かせるンかい」と思い、おまけに途中で車両検査があるとの事。いかにも理科大という感である。

部車の縦目のセドリックで、ナビ乾山知之、ドライバー私で出場した。

青山の絵画館前のスペースを借りて、夕方のスタートであった。国道246号に出て間もなく暮れ泥みはじめ、ヘッドライトを入れ、暫くすると突然ライトの明かりが落ち、スペアのヒューズに替えて、暫く走行するうちに、又ヒューズが飛んでしまうという状況であった。“兎に角”、原因が分らない為、沿線のGスタンドでスペアのヒューズを10本程買い込んだ。

ボンネットを開けて、2人で調べるのだが原因不明で何本かその度にヒューズを取り替えながらM、コントロール地点迄たどり着いた。



国内で最も普及した機械式計算機
タイガー計算器



メイン&IGN ヒューズを交換。整備が行き届いた旧車には効果絶大



ガソリン燃料タンク：ガソリン携行缶、緊急用携行缶

■着くと同時に、この休憩中に、着いた車から順次車両検査実施の旨、理科大スタッフから告げられ、ボンネットとトランクを開けさせられた。ボンネットをチェックしていたオフィシャルスタッフは割とすぐにOKを出したが、トランクの方は開けた途端、ガソリンの匂いが広がり、トランクの床にガソリンが溜まっていたり、再スタート迄の短时间内にトランク内の清掃を命じられた。

ヒューズが飛ぶ原因是、何と金物であるスペアタンクの口ネジのピッチに傷があった為、タンクの準備を頼んでおいた下級生が気を利かせて、倒れぬ様トランク開閉ヒンジとタンクの持ち手を針金で結んでしまった事であった。

■トランクルーム灯のコード露出部分と針金が車の揺れによって触れ、ショートを起こしていたのだ。よくぞ大事に至らずに、と胸を撫で下ろすと同時に私達の最終チェックの甘さを大いに反省した。

M、コントロール地点から、富士スピードウェイのある小山町の辺りの、どの山を走ったのか記憶にないが、暗黒の山中で、車を止めては幾度となく車酔いの乾山の背中をさすりながらのラリーであった。

私も当初ナビで出場し、この車酔いに苦しみ、金輪際ナビはするまいと思っていた。とどの詰りは、明け方街中に入り、初めての制限速度40km標識から200mコードを伸ばしスピードの測定をされており（ブラインドで行われたので、ゴール後に全てを知る事になる）制限速度を20kmも超えていたので、失格と相成った。

■その後四年生になり、乾山は整備のエースとして、愛知県のトヨタの自動車学校で行われる学生整備大会に下級生を連れて出場する事になる。

ラリーの方は、全関東学生ラリー選手権にエントリーし、各校2名の交代制、4名一チームで、前半、後半リレーで行われた。

前半のナビゲーターは、一昨年亡くなった「内田 実」ドライバー私、夜中に中継地点となった御殿場で後半ナビゲーター「川俣 健治郎」ドライバー「奥津 正」にリレーした。試合はヘルメットの着用が義務づけられており、今でこそヘルメットは珍しくないが、当時バイクにもヘルメットの着用義務はなく、スピードカーレース以外でヘルメットの必要性を感じる事がない時代であった。

急遽、広尾にお住まいの「春山 博道」先輩のお宅に伺いヘルメットをお借りして、出場した。

この全関東ラリーは、部車の中でも直近に入ってきて、程度一番良いハイヤー上がりの三菱デボネアで出場した。

一般道のラリーとは云え、スタート時に少々恥ずかしい思いはあったが、なにしろ安心して乗れる車がデボネアしかなかった為致し方なかった。

このラリーでも私のミスで前半のゴールが近いと思われる地点でコースを間違えた。夜中の道とは云え、街中の片道一車線を、前に車があればオレンジのセンターライン越えて、対向車線を飛ばしに飛ばした。私達の一分前にスタートした東海大学の深紅のブルーバードの後ろ姿を捉えた時のことは今でも忘れられない。

右に左に、のコーナリングの度にデボネアの柔らかいサスペンションシステム故、ローリングが激しく、タイヤの軋み音とゴムの臭いが室内に満ち溢れた、内田の“臭い、臭い”の連発に対し、私は「俺の所為じゃないワ」と返していた。



ナイトラリーを開く・房総半島から徒然ブログ



昔のラリー



27回自動車整備技能競技大会を開催



三菱・デボネア



27回自動車整備技能競技大会を開催

■後半の川俣、奥津組は順調な走行で、結果は前、後半共に、各チェックポイント59秒以内の誤差で秒単位の争いになり、確かに十位前後であったが、予選通過は十二位迄と云う中で、何とか全日本の出場権を獲得する事が出来た。

■全日本学生選手権は三年後の大阪万博のキャンペーンを兼ねて、一年目は九州一周、二年目は北海道一周で、三年目で本州一周という長いスパンの計画であった。

全日本は距離もあるので、2交替の6人制になり、キャンペーンの目的もあり、各通過県庁舎への表敬訪問を行う為、6日間のデイラリーとなつた。

■当初は四年生の中から、追加2名という意見もあったが、来年に繋げる為に、一学年下の「岩瀬 恒彦」と「陶山 恵造」を連れて行く事にした。

選手2名一組、二泊分ずつの宿舎用意と費用負担は学連が賄って呉れたが、試合出場者以外の選手は自己負担となる上、試合車と他の選手移動の為の車も必要となる為、学生にとっては多額な費用負担が必要となった。

無い知恵を絞る中、当時学生課に体育会バドミントン部出身の山本さんと云う先輩が居る事を知り、早速、高橋 賢一部長のお名前もお借りし、文書で学校からの援助をお願いした。毎年、体育会執行部を通して、活動費が給付されている事を理由に、いきなり「無理である」との対応であった。私はこれで引き下がれないと思い、

「初めて、全日本の出場権を獲得しましたが、極めて残念ですが、出場を辞退する事になると思います」と告げ、部室を出ようとすると「一寸待て」と云われ、暫く考えている様子「少し時間を下さい」とおっしゃった。

■後日、呼ばれ、特別にと10万円の援助金を頂戴する事になった。

当時、体育会執行部を通しての自動車部年間予算44万円時代での10万円の援助は、レギュラーガソリンが一リッター55円の時代でもあり、可成りの額であった。

こうして、夏の九州一周全日ラリーに向う事になる。

全日ラリー、全関、全日フィギュアについても、面白いエピソードがあるので、お許しと機会があれば、拙文ながら又、記そうと思います。

2023.8.3 樋口 雅一 記

(転記：編集者 2023.11.24) 次作も楽しみにしております。

■その他おもしろいブログ

(編集者ホームページから探し出す)

全日本ラリー選手権 第3戦 ツール・ド・九州 2023

■2012年03月06日

最近の活動

こんばんは。

唯一の2年、408です。

またしても久しぶりの更新です。

最近は部車のロードスターの製作をメインの活動。

とりあえず、明学カラー(黄色と黒)に塗装して

明治学院大学 自動車部！ ブログ 愛車紹介

フォトアルバムヒストリー

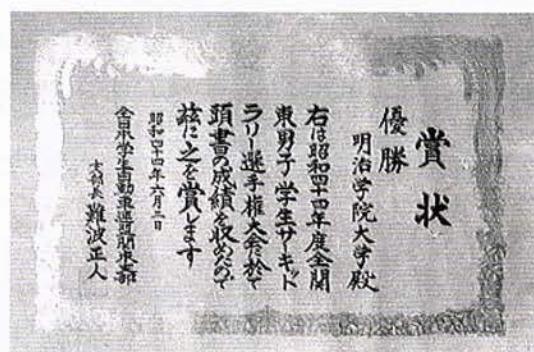
▼明治学院大学 体育会 自動車部のブログ一覧

2016年03月28日 イイね！4

春合宿と新入生歓迎！

2015年09月09日 イイね！3

2015 夏合宿終了報告



ラリー選手権優勝の賞状(記録写真から)
昭和44年6月2日明治学院大学殿



ラリーの黄金時代：コレクション



昔のスノーラリーのお話



明治学院大学体育会
執行部広報局



大学自動車部】35
年守りつづけい
る伝統行事とは？

長崎県の教員グループが走っている
九州一周駆逐コース(505km)



青字で自動車フリー
日本学生自動車連盟九州支部



関東の大学生たち
がダートラで泥ま
みれの激闘



2020年関東学生
ジムカーナ記念
大会



明【21】自

■トランクルーム灯のコード露出部分と針金が車の揺れによって触れ、ショートを起こしていたのだ。よくぞ大事に至らずに、と胸を撫で下ろすと同時に私達の最終チェックの甘さを大いに反省した。

M、コントロール地点から、富士スピードウェイのある小山町の辺りの、どの山を走ったのか記憶にないが、暗黒の山中で、車を止めては幾度となく車酔いの乾山の背中をさすりながらのラリーであった。

私も当初ナビで出場し、この車酔いに苦しみ、金輪際ナビはするまいと思っていた。とどの詰りは、明け方街中に入り、初めての制限速度40km標識から200mコードを伸ばしスピードの測定をされており（ブラインドで行われたので、ゴール後に全てを知る事になる）制限速度を20kmも超えていたので、失格と相成った。

■その後四年生になり、乾山は整備のエースとして、愛知県のトヨタの自動車学校で行われる学生整備大会に下級生を連れて出場する事になる。

ラリーの方は、全関東学生ラリー選手権にエントリーし、各校2名の交代制、4名一チームで、前半、後半リレーで行われた。

前半のナビゲーターは、一昨年亡くなった「内田 実」ドライバー私、夜中に中継地点となった御殿場で後半ナビゲーター「川俣 健治郎」ドライバー「奥津 正」にリレーした。試合はヘルメットの着用が義務づけられており、今でこそヘルメットは珍しくないが、当時バイクにもヘルメットの着用義務はなく、スピードカーレース以外でヘルメットの必要性を感じる事がない時代であった。

急遽、広尾にお住まいの「春山 博道」先輩のお宅に伺いヘルメットをお借りして、出場した。

この全関東ラリーは、部車の中でも直近に入ってきて、程度一番良いハイヤー上がりの三菱デボネアで出場した。

一般道のラリーとは云え、スタート時に少々恥ずかしい思いはあったが、なにしろ安心して乗れる車がデボネアしかなかった為致し方なかった。

このラリーでも私のミスで前半のゴールが近いと思われる地点でコースを間違えた。夜中の道とは云え、街中の片道一車線を、前に車があればオレンジのセンターライン越えて、対向車線を飛ばしに飛ばした。私達の一分前にスタートした東海大学の深紅のブルーバードの後ろ姿を捉えた時のことは今でも忘れられない。

右に左に、のコーナリングの度にデボネアの柔らかいサスペンションシステム故、ローリングが激しく、タイヤの軋み音とゴムの臭いが室内に満ち溢れた、内田の“臭い、臭い”の連発に対し、私は「俺の所為じゃないワ」と返していた。



ナイトラリーを開く・房総半島から徒然ブログ



昔のラリー



27回自動車整備技能競技大会を開催



三菱・デボネア



27回自動車整備技能競技大会を開催

■後半の川俣、奥津組は順調な走行で、結果は前、後半共に、各チェックポイント59秒以内の誤差で秒単位の争いになり、確かに十位前後であったが、予選通過は十二位迄と云う中で、何とか全日本の出場権を獲得する事が出来た。

■全日本学生選手権は三年後の大阪万博のキャンペーンを兼ねて、一年目は九州一周、二年目は北海道一周で、三年目で本州一周という長いスパンの計画であった。

全日本は距離もあるので、2交替の6人制になり、キャンペーンの目的もあり、各通過県庁舎への表敬訪問を行う為、6日間のデイラリーとなった。

■当初は四年生の中から、追加2名という意見もあったが、来年に繋げる為に、一学年下の「岩瀬 恒彦」と「陶山 恵造」を連れて行く事にした。

選手2名一組、二泊分ずつの宿舎用意と費用負担は学連が貯って呉れたが、試合出場者以外の選手は自己負担となる上、試合車と他の選手移動の為の車も必要となる為、学生にとっては多額な費用負担が必要となった。

無い知恵を絞る中、当時学生課に体育会バドミントン部出身の山本さんと云う先輩が居る事を知り、早速、高橋 賢一部長のお名前もお借りし、文書で学校からの援助をお願いした。毎年、体育会執行部を通して、活動費が給付されている事を理由に、いきなり「無理である」との対応であった。私はこれで引き下がれないと思い、

「初めて、全日本の出場権を獲得しましたが、極めて残念ですが、出場を辞退する事になると思います」と告げ、部室を出ようとすると「一寸待て」と云われ、暫く考えている様子「少し時間を下さい」とおっしゃった。

■後日、呼ばれ、特別にと10万円の援助金を頂戴する事になった。

当時、体育会執行部を通しての自動車部年間予算44万円時代での10万円の援助は、レギュラーガソリンが一リッター55円の時代でもあり、可成りの額であった。

こうして、夏の九州一周全日ラリーに向う事になる。

全日ラリー、全関、全日フィギュアについても、面白いエピソードがあるので、お許しと機会があれば、拙文ながら又、記そうと思います。

2023.8.3 樋口 雅一 記

(転記：編集者 2023.11.24) 次作も楽しみにしております。

■その他おもしろいブログ

(編集者ホームページから探し出す)

全日本ラリー選手権 第3戦 ツール・ド・九州 2023

■2012年03月06日

最近の活動

こんばんは。

唯一の2年、408です。

またしても久しぶりの更新です。



最近は部車のロードスターの製作をメインの活動。
とりあえず、明学カラー(黄色と黒)に塗装して
明治学院大学 自動車部！ ブログ 愛車紹介
フォトアルバムヒストリー

▼明治学院大学 体育会 自動車部のブログ一覧

2016年03月28日 イイね！4

春合宿と新入生歓迎！

2015年09月09日 イイね！3

2015 夏合宿終了報告



明治学院大学体育会執行部広報局



大学自動車部】35年守りつづけている伝統行事とは？

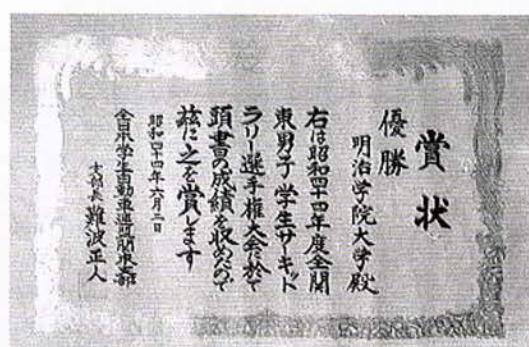
長崎県の教員グループが走っている九州一周駆逐コース図



専門学生自動車フリー



関東の大学生たちがダートラで泥まみれの激闘



ラリー選手権優勝の賞状(記録写真から)
昭和44年6月2日明治学院大学殿



ラリーの黄金時代：コレクション



昔のスノーラリーのお話



2020年関東学生ジムカーナ記念大会



明【21】自

「うちなー便り」 先の台風6号についてご報告 68年度生 谷崎洋一郎 記

- 7月31日から沖縄本島に最接近した台風6号は、本島の西側を通過したため東からの強風に晒され、我が家が玄関が東側なので外に出られず、しかも 8月1日の夜11時頃から停電となり、久し振りに「蠟燭」を使いました。テレビもパソコンも使えず、悶々と時間が過ぎました。ただ、ガスと水道は使えたので炊事は出来ましたので、冷蔵庫の生鮮食品を痛む前に料理しました。翌2日の夕方5時過ぎに漸く電気が復旧して、元の生活に戻りました。
- 台風はそのまま北に向かうと思いきや、なんとUターンして8月5日には沖縄の北側を通過したため今度は西からの強風がベランダを襲いました。洗濯機を置いているので、中に水を満杯にしておき、事なきを得ました。
- 今回は停電せずとも強風のため、やはり外には出られませんでした。7日に漸く風雨も収まり、外出も可能となりましたが、スーパーには食料品が底をついていて、未だに野菜、生鮮品はありません。(8月13日現在)
- 今回の台風は、過去に例のない進路を辿りました。停電時間は、本島内で最大177時間に及んだそうです。その間、建物、設備の被害、がけ崩れが発生し、風雨による農産物、水産物の損害は20億円を下らない、との試算がされています。
- 沖縄は離島ですので、空路、海路による内地からの食料品が送られて来ないために、日常の生活に支障をきたすことになります。日頃からの備えが重要なことを実感した次第です。
- ◎ 今日8月13日は台風一過で、沖縄らしい好天に恵まれています。皆様もご自愛ください。

※(明学自動車部のホームページから)

明学自動車部OB・OG懇親会のご案内 令和5年5月21日（日曜）に開催された（HP閲覧）

2023全日本学生ジムカーナ選手権大会決勝 インタビューを動画にしました。（HP閲覧）

全日本学生ジムカーナ大会開催のご案内 8月19日(土)・20日(日)に鈴鹿サーキット（HP閲覧）

令和5年12月8日

会員各位

明学自動車部OBOG会 世話人会

「明学自動車部だより」送付に関するお知らせ

令和2年3月発行の「明学自動車部だより」創刊号以来、今回の令和6年新年号までを、住所が分かっている全会員に送付してまいりました。

しかし、9頁の「賛助金のお支払いのお願い」にも記載させていただきました通り現在のOBOG会の財政状態は逼迫しており、全会員に今後も発送を継続していくことは非常に難しい状況となっています。

世話人会といたしましても、このような現状を深刻に受けとめ、去る11月17日に開催されました世話人会で議題に挙げて「入会金未納の方への明学自動車部だよりの送付を中止する」という結論を出した次第です。

したがって、入会金未納の方につきましては次号以降の「明学自動車部だより」は送付を取りやめとさせていただきますので、誠に恐縮に存じますが是非ともご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上

「うちなー便り」 先の台風6号についてご報告 68年度生 谷崎洋一郎 記

- 7月31日から沖縄本島に最接近した台風6号は、本島の西側を通過したため東からの強風に晒され、我が家が玄関が東側なので外に出られず、しかも 8月1日の夜11時頃から停電となり、久し振りに「蠟燭」を使いました。テレビもパソコンも使えず、悶々と時間が過ぎました。ただ、ガスと水道は使えたので炊事は出来ましたので、冷蔵庫の生鮮食品を痛む前に料理しました。翌2日の夕方5時過ぎに漸く電気が復旧して、元の生活に戻りました。
- 台風はそのまま北に向かうと思いきや、なんとUターンして8月5日には沖縄の北側を通過したため今度は西からの強風がベランダを襲いました。洗濯機を置いているので、中に水を満杯にしておき、事なきを得ました。
- 今回は停電せずとも強風のため、やはり外には出られませんでした。7日に漸く風雨も収まり、外出も可能となりましたが、スーパーには食料品が底をついていて、未だに野菜、生鮮品はありません。(8月13日現在)
- 今回の台風は、過去に例のない進路を辿りました。停電時間は、本島内で最大177時間に及んだそうです。その間、建物、設備の被害、がけ崩れが発生し、風雨による農産物、水産物の損害は20億円を下らない、との試算がされています。
- 沖縄は離島ですので、空路、海路による内地からの食料品が送られて来ないために、日常の生活に支障をきたすことになります。日頃からの備えが重要なことを実感した次第です。
- ◎ 今日8月13日は台風一過で、沖縄らしい好天に恵まれています。皆様もご自愛ください。

※(明学自動車部のホームページから)

明学自動車部OB・OG懇親会のご案内 令和5年5月21日（日曜）に開催された（HP閲覧）

2023全日本学生ジムカーナ選手権大会決勝 インタビューを動画にしました。（HP閲覧）

全日本学生ジムカーナ大会開催のご案内 8月19日(土)・20日(日)に鈴鹿サーキット（HP閲覧）

令和5年12月8日

会員各位

明学自動車部OBOG会 世話人会

「明学自動車部だより」送付に関するお知らせ

令和2年3月発行の「明学自動車部だより」創刊号以来、今回の令和6年新年号までを、住所が分かっている全会員に送付してまいりました。

しかし、9頁の「賛助金のお支払いのお願い」にも記載させていただきました通り現在のOBOG会の財政状態は逼迫しており、全会員に今後も発送を継続していくことは非常に難しい状況となっています。

世話人会といたしましても、このような現状を深刻に受けとめ、去る11月17日に開催されました世話人会で議題に挙げて「入会金未納の方への明学自動車部だよりの送付を中止する」という結論を出した次第です。

したがって、入会金未納の方につきましては次号以降の「明学自動車部だより」は送付を取りやめとさせていただきますので、誠に恐縮に存じますが是非ともご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上



2024年（令和6年）干支は辰！たつ年や龍（龍）の豆知識

・龍の落とし子（たつのおとしご） およそ魚には見えず
龍の姿に似ていることから、「龍の落とし子」と呼ばれるよ
うになった。英名は「Seahorse」。また、タツノオトシゴの
仲間に、タツノイトコ、タツノハトコがいる。

「明学自動車部OBOG会」



mguacobog@gmail.com



● 干支「辰」置物の人気商品



●辰年（たつ年）生まれの2024年（令和6年）の運勢

明学 [24] 自動車部

令和6年度 辰年の画像：明学自

2024年の干支の「龍・龍」：QRコード

●2024年(令和6年)干支は辰！たつ年や龍（龍）の豆知識



2024年(令和6年)は辰年です。動物にあてはめると龍（龍）
ですが、龍は十二支で唯一の想像上の動物なので、わから
ないことが多いですね。そこで、辰の語源や意味、龍の特
徴、ことわざなど、辰と龍に関する豆知識を紹介します。
※本来、干支は十干と十二支を組み合わせたものなので、
2024年の干支は「甲辰」(きのえたつ)ですが、一般的には
十二支のほうをさすため、ここでは「辰」をとりあげます。



●2024年の干支の「辰年・たつ年」の特徴

辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛にな
って大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

また、たつ（龍、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物
で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大き
く関わる年といわれています。

